

様式例11 指定管理者制度活用事業 評価シート

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市大山街道ふるさと館	評価対象年度	令和5年度
事業者名	事業者名 川崎市大山街道ふるさと館共同運営事業体 代表団体 公財)川崎市生涯学習財団 代表者 理事長 石井 宏之 住所 中原区今井南町28-41 構成団体 認定特定非営利活動法人教育活動総合サ ポートセンター	評価者	総務課長
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	所管課	高津区役所まちづくり推進部総務課

2. 事業実績

利用実績	貸室利用者数 32,732人、貸室利用件数 2,189件、展示室利用者数 10,529人 ※1 外壁改修及び屋上防水改修工事に伴う、貸館業務の停止 期間: 令和6年4月3日～7日、4月10日～14日、9月1日、9月4日～8日、9月11日、9月12日(計18日間) 対象: 午前・午後の全貸室。夜間は貸館業務継続。 ※2 外壁改修及び屋上防水改修工事に伴う、駐車場の使用不可 期間: 令和6年4月1日～9月22日(約6か月間) 対象: 平日・午前午後(工事時間帯)の駐車場
収支実績	収入総額29,081,288円(指定管理料25,376,389円、利用料金収入2,853,830円、 自動販売機収益298,097円、雑収入465,886円、補償・補填金87,086円) 支出総額28,649,794円
サービス向上の取組	・「まちの企画室」との事業連携の強化により、地域の拠点としての役割を担い、地域活性化に貢献した。 ・世代問わず地域の文化や歴史を学ぶことができる企画展を開催することで、展示室の観覧者数を維持し、当館の利用者総数の獲得につなげた。 ・談話室の椅子やテーブルの入れ替え、イベントホール及び第2会議室のカーテンの一新、和室のふすま及び障子の張り替え等、来館者が快適に施設を利用できるよう、各種整備を行った。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点																																																																																																				
利用者満足度	事業成果	事業実施による成果の測定を適切に行っているか	10	4(0.8)	8																																																																																																				
		施設の設置目的に沿った適切な運営を行っているか																																																																																																							
	(評価の理由) 施設の設置目的及び事業計画に沿って貸館事業や講座、展示などの各種事業を適切に実施した。また秋・春のふるさと館まつりでは、いずれも「まちの企画室」との事業連携を行いながら、地元の商店の協力のもと、中庭に畳の間を設置したワークショップを開催するなど、充実した内容となったことから、昨年度の来場者数(合計)5,866人を上回り、今年度は6,347人と多くの来場者を獲得した。加えて、令和4年度の春のふるさと館まつりにて大変好評だった、まちの企画室事業「益子焼陶芸づくりワークショップ」については、まちの企画室事業の発展形として連携し、第2回目が令和6年2月に開催され、市内の幅広い年齢層が1,835人も参加するなど、大きな成果を上げた。以上の点から、当館は地域の拠点としての役割を担い、地域活性化に貢献していると認められる。 貸室については、外壁改修及び屋上防水改修工事の影響により、工事時間帯は駐車場利用ができない状況が約6か月間続き、かつ貸館業務の停止が計18日間あった中で、工事業者と綿密な調整を行い、駐輪スペースの確保や荷下ろし等の一時停車の許可、貸室利用者への事前周知等、きめ細やかな対応や配慮を行うことで、貸室利用の減少を最小限に留め、令和4年度実績からは減少しているが、開館以来31年間で2番目の貸室収入を記録したことは、評価に値する。 【参考】 ・貸館利用収入比較(単位:円)																																																																																																								
	<table><tr><th></th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>合計</th><th>平均(過去5年間)</th></tr><tr><td>H30</td><td>179,620</td><td>160,570</td><td>228,620</td><td>216,980</td><td>166,570</td><td>216,840</td><td>227,940</td><td>203,280</td><td>192,960</td><td>211,120</td><td>174,890</td><td>241,952</td><td>2,421,342</td><td rowspan="6">2,553,820</td></tr><tr><td>H31</td><td>213,060</td><td>191,350</td><td>263,250</td><td>199,990</td><td>187,020</td><td>222,660</td><td>251,830</td><td>229,250</td><td>197,290</td><td>219,030</td><td>193,040</td><td>139,770</td><td>2,507,640</td></tr><tr><td>R2</td><td>20,600</td><td>-</td><td>162,400</td><td>213,880</td><td>212,250</td><td>205,720</td><td>236,480</td><td>221,080</td><td>184,900</td><td>128,640</td><td>139,320</td><td>201,840</td><td>1,827,110</td></tr><tr><td>R3</td><td>244,540</td><td>239,620</td><td>245,760</td><td>235,090</td><td>188,500</td><td>243,420</td><td>280,140</td><td>265,080</td><td>233,140</td><td>192,200</td><td>187,850</td><td>229,060</td><td>2,784,400</td></tr><tr><td>R4</td><td>254,660</td><td>261,140</td><td>254,750</td><td>250,560</td><td>236,230</td><td>229,840</td><td>292,700</td><td>287,060</td><td>223,700</td><td>267,880</td><td>296,090</td><td>254,000</td><td>3,128,610</td></tr><tr><td>R5</td><td>212,010</td><td>271,330</td><td>247,490</td><td>244,470</td><td>212,690</td><td>203,450</td><td>279,520</td><td>256,650</td><td>211,370</td><td>203,290</td><td>262,430</td><td>249,130</td><td>2,853,830</td></tr></table>						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均(過去5年間)	H30	179,620	160,570	228,620	216,980	166,570	216,840	227,940	203,280	192,960	211,120	174,890	241,952	2,421,342	2,553,820	H31	213,060	191,350	263,250	199,990	187,020	222,660	251,830	229,250	197,290	219,030	193,040	139,770	2,507,640	R2	20,600	-	162,400	213,880	212,250	205,720	236,480	221,080	184,900	128,640	139,320	201,840	1,827,110	R3	244,540	239,620	245,760	235,090	188,500	243,420	280,140	265,080	233,140	192,200	187,850	229,060	2,784,400	R4	254,660	261,140	254,750	250,560	236,230	229,840	292,700	287,060	223,700	267,880	296,090	254,000	3,128,610	R5	212,010	271,330	247,490	244,470	212,690	203,450	279,520	256,650	211,370	203,290	262,430	249,130	2,853,830
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均(過去5年間)																																																																																										
H30	179,620	160,570	228,620	216,980	166,570	216,840	227,940	203,280	192,960	211,120	174,890	241,952	2,421,342	2,553,820																																																																																											
H31	213,060	191,350	263,250	199,990	187,020	222,660	251,830	229,250	197,290	219,030	193,040	139,770	2,507,640																																																																																												
R2	20,600	-	162,400	213,880	212,250	205,720	236,480	221,080	184,900	128,640	139,320	201,840	1,827,110																																																																																												
R3	244,540	239,620	245,760	235,090	188,500	243,420	280,140	265,080	233,140	192,200	187,850	229,060	2,784,400																																																																																												
R4	254,660	261,140	254,750	250,560	236,230	229,840	292,700	287,060	223,700	267,880	296,090	254,000	3,128,610																																																																																												
R5	212,010	271,330	247,490	244,470	212,690	203,450	279,520	256,650	211,370	203,290	262,430	249,130	2,853,830																																																																																												
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	適正な収支計画に基づき、安定した運営を行っているか	10	4(0.8)	8																																																																																																				
		市民サービスの向上に努めながら、効率的な予算執行を図っているか																																																																																																							
	適切な金銭管理・会計手続	適正な料金徴収を行い、遺漏のない金銭管理を行っているか	5	3(0.6)	3																																																																																																				
(評価の理由) 燃料費高騰の影響により、昨年度の電気料金は大幅増額となったため、今年度は主に備品費・修繕費等を削減することで、電気料金の高騰に備えた予算計画としたが、東京電力及び国の節電プログラムへの参加による減額や、節電の取り組みを積極的に行うことで、前年度比で、電気使用量は-15.1%、電気料金は-32%と大幅に削減することができた。また削減分の電気料金予算については、必要な備品等の購入費及び修繕費として支出するなど、限られた予算内で臨機応変に効率的な執行を行い、市民サービスの向上につなげたことは、評価に値する。 利用料金については、未収金を発生させず徴収事務を的確に執行した。																																																																																																									

サービス向上及び業務改善

適切なサービスの提供	市民に親しまれるふれあいと学習の場を提供しているか	20	4(0.8)	16
	広報活動等、施設の利用促進に向けた取組がなされているか			
	地域団体や他施設と連携して地域及び施設の活性化に寄与する事業を展開しているか			
郷土の理解を促進する取り組み	郷土の理解を促進する、魅力ある企画展を提供しているか	15	4(0.8)	12
	常設展示について、来館者に訴求する展示となるよう工夫や改善がなされているか			
利用者の意見・要望への対応	市民のニーズに即した文化事業を行っているか	15	4(0.8)	12
	利用者の立場に立ったサービス提供を行い、利便性の向上に努めているか			

(評価の理由)

5年ぶりに3講座が開催された「まちのマイスター講座」は、地域の専門店の方を講師に招いた魅力的な講座内容を展開し、アンケートでも多くの高評価が寄せられたことから、多くの市民に質の高い学習機会を提供したといえる。また、市制100周年記念事業との連携事業として、「白黒カラー化プロジェクト写真展」を開催し、とりわけ4年ぶりに開催された高津区民祭では本部としての施設の役割を担うなど、市との連携も一層強化が行われた。

展示においては、第4回企画展「高津で生きた女性たち」では、老舗料亭「やよい」などの地域の協力のもと、これまでにない新たな切り口で地域の歴史を紹介したことからメディア含め注目を集め、3,121人と多くの集客があった。またその他にも、市民ミュージアムとの連携で開催した、第3回企画展「昔のくらしと道具たち」など、世代問わず地域の文化や歴史を学ぶことができる企画展を実施することで、多くの市民がふるさと館を知る契機を創出し、昨年度に引き続き、展示室の入場者数が1万人を超えたことは評価に値する。

【参考】

・展示室入場者数の推移

	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
展示室利用(人数)	9,140	9,142	6,401	8,035	11,755	10,529
常設展(人数)	6,225	4,127	2,173	1,719	2,330	2,365
企画展(人数)	2,915	5,015	4,228	6,316	9,425	8,144

施設整備においては、老朽化していた談話室の椅子やテーブルの入れ替えや、イベントホール及び第2会議室のカーテンの一新により、より多くの市民に親しまれるスペースへと改善した。また、近年和室の利用率が上がったことにより、汚れや痛み等が生じていた、和室のふすま及び障子の張り替えも行った。加えて、利用者からの声に応え、移動可能なスポーツミラーを5台購入し、利用者への貸し出しを行うなど、施設整備の面においても、利用者サービスの向上につながる取組を実施したと認められる。

以上のとおり、施設のリニューアルや地域で活躍する市民の協力、関係団体との連携のもと、地域及び施設の活性化に寄与する事業を展開し、結果として、ふるさと館利用者総数が6万人を超えたことは、評価に値する。

【参考】

・ふるさと館利用者総数の推移

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ふるさと館利用者総数 (入口カウンター数+屋外利用者数)	69,222	47,632	59,668	64,068	60,641

※4月～9月は外壁改修工事のため、工事業者の出入りを来館者総数から減じて算出。

組織管理体制

適正な人員配置	適切に職員を配置し、円滑なローテーションを行っているか	5	3(0.6)	3
担当者のスキルアップ	業務に関する研修を行い、職員の資質向上に努めているか	5	3(0.6)	3
安全・安心への取組	通常の安全管理や、緊急時を想定した計画・訓練などを行うとともに利用者のニーズの把握につとめ適切な対応を行っているか	5	3(0.6)	3
コンプライアンス	個人情報の保護や情報公開を適切に行っているか	5	3(0.6)	3

(評価の理由)

昨年度から引き続き、財団職員を4名体制とすることで、全ての利用時間帯において管理運営上の事務処理やふれあいネットを含む利用者への対応をきめ細かに実施した。さらに、利用者が多い土曜日及び日曜日について、館長を土日交替のローテーション勤務に配置することで、円滑な施設運営につなげた。

施設の安全管理においては、一時滞在施設開設・運営マニュアルや災害時の応急対策に関する計画の更新、高津消防署の協力のもと、実践的な防災訓練を行い、非常時の利用者及び職員の安全管理体制を整えている。

業務実施

施設・設備の保守管理	施設利用の提供に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか	5	3(0.6)	3
------------	--	---	--------	---

(評価の理由)

施設の老朽化が進む中、定期点検等を遺漏なく行い、施設点検表を用いた管理や各種修繕を実施するなど適切な施設管理がなされている。また、館に貯蔵された貴重な資料の保存対策のため、茶箱等の衣類の資料について、シミや害虫による被害有無を確認し、防虫剤の交換を適切に行った。

4. その他加点

分類	項目	着眼点			評価点
その他 他 加 点	市の政策課題への取組				
	(評価の理由)				

5. 総合評価

評価点合計	74	評価ランク	B
-------	----	-------	---

※評価ランクの適用基準

評価ランク	適用基準（評価点合計）
A	総合評価の結果、特に優れていると認められる。（80点以上）
B	総合評価の結果、優れていると認められる。（70点以上80点未満）
C	総合評価の結果、適正であると認められる。（60点以上70点未満） ※標準点
D	総合評価の結果、改善が必要であると認められる。（50点以上60点未満）
E	総合評価の結果、問題があり適切な措置を講じる必要がある。（50点未満）

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

外壁改修及び屋上防水改修工事の影響により、貸館業務の停止や駐車場の使用不可等の条件がある中で、指定管理者が工事業者及び市と綿密な調整を行い、約半年間にわたり、臨機応変な対応を行ったことで、貸室利用の減少を最小限に留め、開館以来31年間で2番目の貸室収入を記録するなど、工事実施に伴う施設運営課題への対応と利用者サービスレベルの維持を両立させたことは評価に値する。

また、市民提案型事業である「まちの企画室」との事業連携や市制100周年記念事業と連携した取組、高津区民祭等の地域への協力を行い、年間を通して、地域の拠点としての役割を担い、地域活性化に貢献しつつ、施設の設置目的に沿った運営が行われたといえる。

その他、支出や施設設備管理等についても、問題なく適切に行ったと認められる。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

過年度の取組を踏まえ、人材育成や利用者ニーズ把握等、サービス向上に係る各種取組を継続しながら、事業計画に基づき事業を適正に実行するとともに、次年度に迎える市制100周年等市政全体の施策を意識し、他施設や関係機関との連携を考慮するなど、館の存在感を高め来館者増につながる取組を検討されたい。

貸室業務については、好調な利用率を維持するために、これまでの取組を継続したうえで、稼働率の上昇に伴って生じる予約困難などの課題を念頭に置き、貸室利用料収入の向上の実現に向けて一層工夫と努力を行うこと。また、地域住民の理解のうえで事業が成り立っていることを十分に認識し、丁寧な説明を継続して行うこと。さらには、利用料金のキャッシュレス決済の導入検討に向けたニーズ把握など、利便性向上に伴う新規利用者の獲得の実現に向けて継続して工夫と努力を行うこと。

一部講座で実施した、先着申込メールフォームの試験導入については、試行で生じた課題を整理し、効果的な導入方法を検討することで、市民の利便性向上及び業務改善に取り組むこと。

博物館事業においては、常設展示の充実も含め、イベントに頼らない館の認知度向上に努め、博物館事業を担う他施設との情報共有や連携も考慮すること。また、ウォーキングステーション事業等の利用者に対しても、展示に触れ、郷土理解を深めてもらうよう工夫を行うなどさらなるアピールを検討すること。

これまでに構築した地域団体との良好な関係を維持すること。また、ふるさと館まつり以外にも、これまでふるさと館を利用していない若い世代の市民や、団体を誘客する方法の検討を行うなど、各種機会を捉えて利用者の増加に向けて一層努めること。

新型コロナウイルス感染症の影響が減少したことにより、インバウンド需要が増加している状況を踏まえ、市民はもとより訪日外国人や観光客などにとっても魅力ある館となるよう、広報や展示内容の充実にも努めるとともに、さらには大山街道や高津区の振興に寄与できるよう、より一層の努力と工夫を行いふるさと館の管理運営を実施すること。